

会議録

会議の名称	第14回朝霞市総合計画策定委員会
開催日時	令和7年4月8日（火） 午前 9時55分から 午前11時02分まで
開催場所	朝霞市役所 別館3階 市長公室
出席者及び 欠席者の 職・氏名	<p>【出席者】 又賀市長公室長、千葉危機管理監、濱総務部長、紺清市民環境部長、 佐藤福祉部長、堤田こども・健康部長、松岡都市建設部長、 村沢審議監兼まちづくり推進課長、田中会計管理者、益田上下水道部長、 稲葉議会事務局長、富士学校教育部長、奥山生涯学習部長、 小笠原監査委員事務局長</p> <p>（事務局） 櫻井市長公室次長兼政策企画課長、齋藤同課主幹兼課長補佐、 山本同課長補佐、石崎同課政策企画係長、下川同課同係主任</p> <p>【欠席者】 なし</p>
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1 第12回総合計画審議会における意見及び対応について（報告） 2 分野別市民懇談会の結果について（報告） 3 第6次朝霞市総合計画（素案）について 4 その他
会議資料	<p>【資料1】 第12回総合計画審議会における意見及び対応 【資料2】 基本構想（素案）及び基本計画（素案）に対する分野別市民 懇談会 結果報告書 【資料3】 第6次朝霞市総合計画（素案） 【参考資料】 成果指標一覧表 【参考資料】 第6次朝霞市総合計画策定スケジュール</p>

会議録の 作成方針	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした全文記録	
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした要点記録	
	■要点記録	
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録での保管（保存年限 年）	
	電磁的記録から文書に書き起こした場合の 当該電磁的記録の保存期間	<input type="checkbox"/> 会議録の確認後消去 <input type="checkbox"/> 会議録の確認後 か月
	会議録の確認方法 出席者の確認及び事務局の決裁	
傍聴者の数	—	
その他の 必要事項	なし	

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

【開会】

【議題】

1 第12回総合計画審議会における意見及び対応について（報告）

【説明】

（事務局：石崎政策企画課政策企画係長）

第12回総合計画審議会における意見及び対応について、資料1を基に報告する。

まず、「1 総論（素案）について」では、No.2、「財政に関する記載は、収入見込だけでなく、支出見込についても掲載し、数値は令和8年度から掲載されているが、現状値から掲載した方がよい」との意見を基に検討した結果、総論における財政の推移は、過去の実績のみを掲載し、今後の見込みについては基本計画（序章）に掲載することとした。

「2 基本構想（素案）について」では、No.1、「基本構想の構成図において、共通理念が別ページに掲載されており、どのような位置付けとなっているのか分かりづらい」との意見があり、改めて基本構想の構成について見直し、共通理念も基本構想に位置付けていると分かるように、構成図及び説明文を変更した。

No.2では、『政策分野における「基本構想を推進するために」について、基本計画は1～6章まで、他の5分野と同じレベルで章立てされているが、基本構想の政策分野における図を見ると、上下の関係になっているように見える』との意見があったが、「基本構想を推進するために」と他の5つの政策分野は上下の関係と捉えておらず、また、「基本構想を推進するために」は5つの分野にまたがるものなので、政策分野の図はそのままとすることを考えている。

「3 基本計画（素案）について」では、まず、全般に関わることとして、No.1、「成果指標を変更した理由や目標値として設定した理由を説明してもらいたい。また、参考実績値について、グラフと表の使い分けはどのようになっているのか。」との意見があり、この意見を踏まえ、成果指標を設定した背景や目標値の根拠をまとめた資料を作成し、本日の参考資料として配布した。また、参考実績値は表に統一して掲載することとし、グラフについては表に溶け込ませるか、掲載の必要性について検討した。

No.4では、『各章の「施策の推進方針」などは、今後追記するのか。』との意見を踏まえ、基本計画の各政策分野の冒頭、体系図の前に現行計画並みの文章を記載した。

【第1章】について、No.2では、『成果指標である「防災施策に対する市民の満足度」については何をもちいて判断すればよいのか、定義があいまいになりやすいと思うので、地域防災計画における達成率などにするとよいのではないか』との意見があった。

【第2章】について、No.2、No.3では『成果指標の「高齢者・障害者の虐待通報件数」について、目標値が増えているが、ネガティブに捉えられかねない指標なのではないか』との意見を踏まえ、指標の説明内容を変更した。

【第3章】について、No.2では、『「自立する力」は大切だと思うが、具体的な取組が、少ないと感じるので、消費者教育など、ほかにも盛り込むことができるのではないか』との意見があり、この意見を踏まえ、現状と課題に追記した。

【第4章】について、No.6では、『「大柱3消費生活・葬祭 中柱1消費者の自立支援の充実」のうち、小柱1の「消費生活相談の充実」と小柱2「消費者啓発・教育の支援」の順番が逆ではないか』との意見があり、中柱1の内容全般を修正した。

【第5章】について、No.6では、『企業誘致に関する成果指標として情報共有回数とあるが、「それによってどのような成果を得られるのか」という視点を持って指標を設定した方がよいのではないか』との意見を頂き、指標名を「企業誘致件数」に変更した。

【第6章】について、No.2では、『「大柱1人権・多様性の尊重 中柱1人権教育・啓発活動・問題解決に向けた支援 小柱4相談や連携による人権問題解決の支援」について、市民団体等との連携も重要ではないか』との意見を頂き、民間団体との協働も視野に入れた記載内容に修正した。

【質疑等】

なし

【結果】

報告のとおり、対応を進める。

【議題】

2 分野別市民懇談会の結果について（報告）

【説明】

（事務局：石崎政策企画課政策企画係長）

分野別市民懇談会の結果について、資料2を基に報告する。

今回の分野別市民懇談会は、第6次朝霞市総合計画の策定に当たり、前期基本計画（素案）に対する市民の意見を聴取するために実施した。

2月1日に3回、2日に2回の計5回開催し、参加者は各回の合計で75人であった。

各回において、基本構想（素案）の内容を政策企画課職員が説明した後、各分野の基本計画（素案）の内容を部会の職員から説明した。その後、グループに分かれて基本計画（素案）の内容等に対する意見交換を行い、その内容をもとにグループごとに発表を行った。

各分野で頂いた主な意見について報告する。

都市建設分野においては、4ページの「災害対策・防犯」に関するテーマでは、「大柱1、中柱（1）」の内容として、河川や崖地、内水が心配との意見や、5ページの「住宅」に関するテーマでは、「大柱4、中柱（1）」の内容として、空き家を改修し、若者向けの店舗などに利活用すると良いとの意見があった。

次に、教育分野においては、16ページの「学校教育」に関するテーマでは、「大柱1、中柱（6）」の内容として、学校から地域にもっと呼びかけをすることが必要ではないかとの意見や、17ページの「生涯学習」に関するテーマでは、「大柱2、中柱（1）、小柱③」の内容として、各々が自分の得意分野を教えることができる場があると良いとの意見があった。

次に、市民環境分野においては、19ページの「生活環境」に関するテーマでは、「大柱1、中柱（1）、小柱①」の内容として、市が積極的に緑化を推進し、緑に恵まれた朝霞を維持してもらいたいとの意見や、23ページの「コミュニティ」に関するテーマでは、「大柱4、中柱（1）」の内容として、災害時の協力体制が危ぶまれるとの意見があった。

次に、健康福祉分野においては、25ページの「福祉・こども・健康」に関するテーマでは、「大柱2」の内容として、市内に整備される児童相談所と密に連携していただきたいとの意見や、27ページの「大柱1」の内容として、生活保護前の生活の手助けが必要

との意見があった。

最後に、総務分野においては、32ページの「公共施設」に関するテーマでは、「大柱3、中柱(3)、小柱②」の内容として、施設使用料や駐車場の有料化で収益を上げるとの意見や、34ページの【情報発信】の内容として、必要な情報になるべく早くたどり着けるようにしてほしいとの意見があった。

各分野で頂いた質問や意見については、施策レベルのものもあれば、事務事業レベルの個別具体的なものもあるので、分野別市民懇談会の結果を庁内で共有し、基本計画のほか、実施計画を策定する際の参考にしていただきたい。

最後に、37ページ以降には、参考資料として参加者募集のチラシと当日配布した施策体系の資料を掲載している。

【質疑等】

なし

【結果】

原案のとおり、次回審議会の議題とする。

【議題】

3 第6次朝霞市総合計画（素案）について

(1) 総論について

【説明】

(事務局：石崎政策企画課政策企画係長)

第6次朝霞市総合計画（素案）について、資料3を基に説明する。

総論については、2月6日の策定委員会及び2月18日の審議会でご意見をいただいた。本日は、2月の会議を踏まえた主な変更点について説明する。

1点目として、第5次総合計画の掲載内容と整合を図るため、17ページに財政力指数と経常収支比率の推移について、次の18ページに実質単年度収支の推移について、説明とグラフを新たに追加した。

2点目として、審議会から財政推計に関する記載内容に対する意見を頂いた。総論は現状の把握から導き出される課題を整理することにより、この後の基本構想へ結びつける意味合いがあることから、意見を踏まえて検討した結果、将来の見込値については掲載せず、基本計画において当該計画期間中の収入及び支出の見込値を掲載した方がよいと判断し、歳入や歳出の推移と並べて掲載していた「主要な一般財源の収入見込み」を削除した。

3点目として、20ページから27ページに、国民健康保険や介護保険などの特別会計にかかる財政推計を掲載した。こちらも第5次総合計画に掲載があり、一般会計だけでなく本市にかかる全ての財政の推移を掲載することにより、横断的に現状を把握することができるため、追加した。

最後に4点目として、「⑤まちづくりを支える健全財政のまち」として、計画策定に向けた主要課題を追加した。

内容としては、今後もしばらくは人口の増加傾向が続くと見込まれることから、市税の増額が見込まれる一方で、公共施設や道路、橋りょうなどの都市インフラの老朽化対策としての支出も見込まれることから、健全な財政運営に対して引き続き目を向けていく必要があることを追加した。

【質疑等】

(佐藤福祉部長)

元々、総合計画は地方自治法の規定により策定されていたが、その規定が削除され、朝霞市は独自に条例を制定して策定を続けている。そういった経緯を記載してはどうか。

「社会の潮流」の中で、⑤に「ダイバーシティ」、「エクイティ」、「インクルージョン」といった横文字が使われているが、施策の中で使用されていない言葉なので、人権という括りで記載してはどうか。また、⑥に「安全・安心な暮らしに対する意識の高まり」とあるが、「防災」については市民の意識が一番高い分野になるので、もう少し記載内容を膨らませてはどうか。

(事務局：櫻井市長公室次長兼政策企画課長)

策定の趣旨は、ご指摘のとおり修正する。

社会の潮流の横文字については、施策の体系等に合わせる形で表現を検討する。また、防災について、内容を追記できるか検討する。

(2) 基本構想について

【説明】

(事務局：石崎政策企画課政策企画係長)

基本構想については、2月6日の策定委員会及び2月18日の審議会で、改めて全体的なご意見をいただいた。

基本構想についても、総論と同じく、2月の会議を踏まえた主な変更点について説明する。

はじめに、<基本構想・基本計画の構成図>について、2月の審議会において、「1ページ目に構成図があるが、2ページ目に共通理念が掲載されているため、共通理念の位置付けが分かりづらい。」との意見をいただいた。

これまでは、第5次総合計画における基本構想の構成図を参考に、共通理念はページを分けて掲載していたが、意見を参考に検討した結果、基本構想の枠内に共通理念を配置し、政策分野は前期基本計画に位置付けていることがわかるように変更した。

次に、42ページの「第3章 共通理念」と44ページの「第4章 政策分野」について、2月の資料では「第3章 政策分野」、「第4章 共通理念」という章立てにしていたが、この章立てについて、「第5次総合計画と構成が逆だがこれでいいのか。」との意見をいただいたので、「第3章 共通理念」、「第4章 政策分野」という構成に変更した。

【質疑等】

なし

(3) 基本計画【序章】について

【説明】

(事務局：山本政策企画課長補佐)

基本計画についても、基本構想と同じく2月6日の策定委員会及び2月18日の審議会で、全体的なご意見をいただいた。意見を踏まえた主な修正点等について説明する。

まず、全体に係る修正点だが、基本構想にある「将来像実現のための基本方向」に結びつくよう「施策の推進方針」を各章の冒頭、施策体系図の前に新たに記載した。記載内容については、39ページから41ページにある「政策づくりにあたって重視すべき事項」

で紐づけられている内容との整合を図るようにしている。

次に、参考実績値については、現状と課題や小柱の説明と結びついていないとの指摘を受けたので、各課で検討し、記載内容を修正している。

また、グラフと表が混在していたので、表に統一することとした。

なお、令和6年度の見込みが確認できているところは、数値を変更している。

次に、成果指標について、記載している説明が不足しているのではないかとの指摘を受けたので、各課で記載内容の見直しをするとともに、設定理由や目標値の根拠を示してほしいとの意見をいただいたので、参考資料として成果指標の設定理由と目標値の根拠については一覧表にまとめた。

次に、序章の主な修正点について説明する。

まず、48ページの「前期基本計画の概要」だが、上段にある<基本構想・基本計画・実施計画の計画期間>について、前回は、実施計画を含めていなかったもので、図の下に実施計画について記載した。

また、下段の<基本構想・基本計画・実施計画の構成図>だが、基本構想と基本計画の図については、36ページと同じ形に修正し、下の実施計画の部分を追加した。

次に、49ページと50ページの「計画期間中の財政見通し」であるが、現状値として令和6年度見込みを、49ページは歳入、50ページは歳出と市債残高について追加した。

【質疑等】

なし

(4) 基本計画【第1章】について

【説明】

(事務局：山本政策企画課長補佐)

第1章の主な修正点について説明する。

62ページの成果指標「防災施策に対する市民の満足度」の説明内容を修正している。

また、63ページの参考実績値の数値について、修正している。

【質疑等】

なし

(5) 基本計画【第2章】について

【説明】

(事務局：山本政策企画課長補佐)

第2章の主な修正点について説明する。

71ページの成果指標「高齢者・障害者の虐待通報件数」だが、「虐待を増やすと捉えられるのでは」や「虐待を減らすという最終的な成果が測れる指標がいいのではないか」とのご意見があったが、「潜在的な虐待を発見し、改善していくために必要なこと」であることから、指標の変更は行わないが、説明内容について修正した。

次に、74ページの成果指標「要保護児童対策地域協議会個別支援会議で協議した人数」について、「さきほどの虐待通報件数と同じで見直してはどうか」との意見をいただいたが、成果指標の変更はせず、説明に「児童虐待を未然に防ぐため」を追加している。

次に、75ページの成果指標「こどもの居場所づくりを支援する団体数」について、「こ

どもの居場所の定義が変わってきているので、概念が明確になるように整理してもらいたい。」との意見を受け、説明内容を修正し、それに合わせて現状値と目標値を変更している。

次に、76ページの参考実績値について、「支給日に児童扶養手当が遅滞なく支給されている割合」を記載していたが、実績値が全て100%となっていたので、別の実績がいいのではとの意見をいただいたことから、「ひとり親家庭等相談件数」に変更している。

【質疑等】

なし

(6) 基本計画【第3章】について

【説明】

(事務局：山本政策企画課長補佐)

第3章の主な修正点について説明する。

89ページの中柱2「確かな学力と自立する力の育成」で、「自立した力を育成するための具体的な記載が不足しているのではないか」との意見をいただいたので、現状と課題に追記をした。

次に、90ページの小柱4「教育DXの推進」で、「何が言いたいのか伝わりづらい」との意見をいただいたので、記載内容を修正している。

次に、92ページの中柱5「学校施設の適切な維持・管理」の参考実績値に「学校給食の安定した提供の達成率」を記載していたが、全て100%となっていたので、別の実績がいいのではないかと意見をいただいた。担当課では、今後「学校給食のこどもの満足度」としていきたいとのことだが、現時点では参考実績値はないため、削除した。

次に、95ページについては、「生涯学習全般として学校との連携を取り組む必要があるのではないか」との意見をいただいたので、中柱2「学びを支える環境の充実」に主担当課を追加するとともに、小柱1「学習活動の支援・充実」に学校との連携について記載した。

【質疑等】

なし

(7) 基本計画【第4章】について

【説明】

(事務局：山本政策企画課長補佐)

第4章の主な修正点について説明する。

105ページの欄外になるが、関連する個別計画等に「朝霞市地球温暖化推進対策実行計画」と「朝霞市気候変動適応計画」を追加した。

次に、106ページの中柱2「ごみ処理体制の充実」の成果指標について、「リサイクル率」になっていたが、「中柱2の内容と整合が図れていない」との意見をいただき、「ごみ焼却処理施設の稼働率」に変更している。

次に、108ページの中柱1「消費者の自立支援の充実」については、「国の動き等を含め、全般的な見直しが必要ではないか」との意見をいただいたので、小柱1と小柱2を入れ替え、目指す姿、現状と課題、小柱の説明について修正をしている。

次に、111ページの中柱2「活動施設の充実」の参考実績値だが、成果指標と同じも

のとなっていたので、別の実績値である「市民センターの会館日数」に変更した。

【質疑等】

なし

(8) 基本計画【第5章】について

【説明】

(事務局：山本政策企画課長補佐)

第5章の主な修正点について説明する。

120ページの中柱3「人中心の歩きたくなるまちづくり」の参考実績値について、「道路空間の再配分」は、「道路空間の再配分及び利活用の検討」となっていたので、「指標名に検討と記載があり、実績が全て検討となる実績値は必要なのか」と意見をいただき修正したものになる。

次に、127ページの中柱1「まちの骨格となる緑づくり」の参考実績値の「保護地区面積」について、中柱2「うるおいのある生活環境づくり」の参考実績値としていたが、小柱の内容から中柱1が適しているため、変更した。

次に、135ページの中柱2「中小企業・小規模事業者の経営基盤の強化」について、小規模事業者の記載を入れてほしいとの意見をいただき、現状と課題に追加していたが、柱名にも追加してほしいとの意見をいただいたので、修正をしている。

次に、136ページの中柱3「企業誘致の推進」の成果指標について、「どのように変わるのか」という視点で指標を設定してはどうかとの意見をいただいたので、「企業誘致に係る庁内・関係機関との情報共有回数」から「企業誘致件数」に変更した。

【質疑等】

なし

(9) 基本計画【第6章】について

【説明】

(事務局：山本政策企画課長補佐)

第6章の主な修正点について説明する。

146ページの小柱4「相談や連携による人権問題解決の支援」について、「民間団体との協働」について記載してはどうかとの意見をいただいたので、内容を修正した。

次に、147ページの参考実績値について、「人権に関する研修会・講演会参加者数」の数値が誤っていたため、修正した。

次に、150ページの中柱1「市民参画と協働の推進」の小柱1「市民参画の機会の充実と推進」について、「市民参加のことしか記載がない」との意見をいただいたので、小柱名を「参画の機会の充実」から変更するとともに、記載内容についても修正している。

【質疑等】

なし

(10) 総合戦略について

【説明】

(事務局：山本政策企画課長補佐)

国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」等に基づき、本市でも2期にわたり「朝霞市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、施策を進めてきた。

国は、令和4年に「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を閣議決定し、デジタルの力を活用した地方創生の加速化・深化を目指している。市でもこの内容を盛り込んだ「総合戦略」を新たに策定する必要がある。

「総合戦略」と「総合計画」は、朝霞市の未来を展望し必要な施策を定める点において共通しており、地域課題の解決等についてはデジタルの力を活用し、各施策を効率的・効果的に進める必要がある。

また、市民にとって分かりやすい計画とするため、「本市が目指す姿と実現に向けた取組」をより明確に示す必要があると考えている。このため、「朝霞市デジタル田園都市構想総合戦略」は、国の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」の方針を含む「第6次朝霞市総合計画」と一体化するものとし、取組を総合的に推進していくことを位置付けるものである。

159ページの「総合戦略の計画期間」は、総合計画と同じ令和8年度から令和12年度までで、「総合戦略の構成」は、国の手引きを基に作成した。また、総合戦略に求められるKPIという「重要業績評価指標」については、前期基本計画の施策及び実施計画の事業に付された指標としている。160ページの「人口の将来展望」は、「総合計画」と同じ内容を「総合戦略」にも位置付けている。

【質疑等】

なし

(11) 資料編について

【説明】

(事務局：下川政策企画課政策企画係主任)

第6次総合計画を冊子とする際には、現行の第5次総合計画と同じく、巻末に資料編を設けたいと考えている。

1点目として、「策定の経過」を掲載する。令和5年度に第1回策定委員会を開催して以降、策定委員会や審議会の開催状況のほか、各種調査や市民参画を進めてきたことをまとめている。

なお、163ページの令和7年度の内容については、開催日時等が決まり次第、追記していく。

2点目に、「策定体制・フロー」を掲載する。策定体制は、総合計画策定方針にも掲載していたものを資料編にも掲載している。また、策定フローについては、策定に当たっては基礎調査等を実施したことや各種市民参画を通して目指すべき方向性の検討を進めると同時に、第5次総合計画を総括することにより第6次総合計画に向けた課題を抽出し、基本構想と基本計画の検討を両輪で進めてきたことを図示している。

3点目に、「朝霞市総合計画審議会」を掲載する。(1)として審議会の設置根拠である総合計画条例を掲載し、次に(2)として委員名簿を掲載、(3)として諮問・答申を掲載する。

4点目に、「庁内体制」として策定委員会要綱を掲載する。

5点目に、「市民参画による計画づくり」を掲載する。計画の策定に当たっては、市民意識調査や青少年アンケートのほか、市民ワークショップや分野別市民懇談会など、機会を捉えてさまざまな手法で市民の意見を聴きながら検討を進めてきた。これらの結果

報告書を基に、開催概要を掲載している。181ページには、これまで、審議会や市民意見交換会などで、「市民参画で出した意見が、どのように反映されたかわかるとよい」との意見をいただいたので、ページの下部に、参考として「市民参画に係る取組の結果反映箇所」をまとめている。

6点目に、「基本方向と施策の関係」を掲載する。3つの基本方向における政策づくりに当たって重視すべき事項と、各施策のつながりがわかるよう表にまとめたものになる。

7点目に、「SDGsと施策の関係」を掲載する。各施策におけるSDGsの目標の位置付けを表にまとめたものである。

8点目に、「主な個別計画一覧」を掲載する。基本計画の第1章から第6章において、それぞれの大柱がはじまる見開きのページの右上に関連する個別計画を掲載しているが、それらを表にまとめたものになる。また、審議会で「関連する個別計画の概要がわかるとよい」との意見をいただいたので、その意見を踏まえ、計画名・計画等の概要・所管課をまとめている。

9点目に、「参考図表」を掲載する。参考図表については、第5次総合計画に掲載していた図表を基に、現状に合わせて施設等の修正を加えた。

10点目に、「用語解説」を掲載する。用語解説については、第5次総合計画に掲載していた用語を基に、第6次総合計画で掲載されていない用語を削除したほか、新たに解説が必要と思われる用語を追加した。

【質疑等】

(佐藤福祉部長)

「市民団体、事業者等との意見交換」については、地域福祉計画の策定過程で、地域懇談会や福祉団体ヒアリングを実施している。令和6年8月3日までの内容に留まっているが、追加できないか。

(事務局：櫻井市長公室次長兼政策企画課長)

改めて全庁に照会し、内容を更新する。

(紺清市民環境部長)

「朝霞市総合計画策定委員会要綱」の庁内策定部会について、構成に変更があるのではないか。

(事務局：櫻井市長公室次長兼政策企画課長)

現状に合わせて修正する。

(千葉危機管理監)

参考図表の避難場所について、避難所と避難場所で意味合いが異なるので、表記の仕方を検討したい。

(村沢審議監兼まちづくり推進課長)

参考図表はいつの時点まで反映できるか。

(事務局：櫻井市長公室次長兼政策企画課長)

時点については記述していないが、8月頃に審議会から答申を受けるので、8月、9月が締め切りだと考えている。最終的な締め切りは改めてお知らせしたい。

【結果】

一部修正の上、次回審議会の議題とする。

【議題】

4 その他

【説明】

(事務局：櫻井市長公室次長兼政策企画課長)

事務連絡として、まず、今後の流れだが、本日の審議を踏まえ、4月25日(金)に総合計画審議会を開催し、市民コメント案としての第6次朝霞市総合計画(素案)について意見をいただく。

また、審議会での審議状況によっては、市民コメント前にもう一度会議を設けることも想定している。そのため、現状で想定するスケジュールとしては、4月25日の審議会を受けてもう一度策定委員会及び審議会を開催し、総合計画の市民コメント案を作成する。市民コメントについては、6月議会の開会に合わせて全員協議会で議会説明を行い、6月中に意見募集を行いたいと考えている。

なお、市民コメントの実施に合わせて市民意見交換会の開催も予定している。開催手法としては、昨年12月に実施した市民意見交換会と同様、オープンハウス形式での開催を計画しており、各部の職員にも出席を依頼する予定である。詳細については、改めてお知らせする。

次に、4月25日の審議会の状況にもよるが、次回の策定委員会については、5月7日(水)執行部連絡会終了後の開催を予定している。開催に当たっては、改めて通知を送付する。

最後に、本日の審議を踏まえ、資料に修正が入ると思うが、改めてデータを送付するので、確認していただき、意見があれば提出していただきたい。

【閉会】